

＜中学校＞

- ◇食事や起床・就寝時刻など、基本的な生活習慣が着実に定着してきています。
- ◇家庭学習では、ほとんどの生徒が宿題や復習を中心にしっかり取り組んでいます。自分で計画を立てて勉強に取り組むことがやや苦手で、学校の授業以外で勉強する時間は短い傾向にあります。
- ◇土曜日や日曜日など学校が休みの日には、部活や勉強・読書に取り組む生徒の割合が高くなっています。

＜具体的な方策＞

- ◇自学ノートの確認や、家庭学習の手引きの効果的な活用など、家庭と連携した取組を進め、家庭学習の定着を図ります。
- ◇教科シラバスを用いて授業の予習、復習を行ったり、テスト前の学習計画を立てたりするなど、学習に見通しをもって取り組む習慣の獲得を目指します。
- ◇授業や学級活動、道徳、総合的な学習の時間、部活動などを通して、自分の生き方や将来について考えられるように指導します。また、生徒の自己肯定感を一層高め、自信をもって物事に取り組める生徒を育てます。

● 児童生徒をより伸ばすための学校の取組（改善策）

＜小学校＞

【国語】

- ・文章を読んで意見をまとめる活動や、自分の考えを論理的に表現する活動を取り入れます。
- ・身近な図書を計画的に活用する読書活動を取り入れ、目的や意図に応じた効果的な読み方ができるような学習活動に工夫します。

【算数】

- ・計算の意味や計算の仕方を、図や数直線などを用いて関連付けながら考え、説明できるような学習を工夫します。
- ・まとめの問題やプリント学習で基礎的・基本的な知識・技能の定着を確認し、必要に応じた補充指導を行います。

＜中学校＞

【国語】

- ・学習した内容などについて、適切に表現できるように促す指導法を工夫し、チームティーチングなどを活用して、きめ細かく指導します。
- ・場面に応じて交流の時間を設けるなど、より主体的に、積極的に学習に取り組めるような課題提示や授業展開を工夫します。



【数学】

- ・基礎的、基本的な知識、技能を身につけるためのミニテストを継続して行います。
- ・習熟度学習において、問題の難易度を変化させながら、考え方を文章で表す演習を行います。

【英語】

- ・毎時間の授業の中で、友だちと交流したり、自分の考えを表現したりする言語活動を設定し、リフレクションシート（振り返り）等を積極的に活用しながら、授業改善に取り組めます。

豊頃町の児童生徒の学習・生活の充実のために

学校では、学習規律の定着と同時に、基礎的・基本的な学習内容の確実な習得に努めるとともに、これを基盤とした体験型・課題解決型の学習活動を多く取り入れるなどし、子ども自らが主体的に学び、一人一人に自分の良さを見つけさせるようにしていきます。そのために、分かりやすい授業づくり、宿題の質を高めるなど、子どもたちが集中して学ぶことができるよう教育環境を整えます。また、「主体的・対話的で深い学びからの授業改善」に努め、子どもの学ぶ意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させていきます。あわせて、家庭と連携して、学び方や学習習慣を身につけさせるよう取り組みます。

家庭では、学校と連携・協力して、子どもの生活習慣等（「早寝・早起き・朝ご飯」、手伝い、テレビやゲームをする時間）を見直すとともに、家庭学習の習慣化に取り組みましょう。

地域では、学校行事や四季折々の町内行事、日常の活動場面などにおいて、積極的に活動している子どもたちへの温かい励ましや教育活動へのご協力をお願いいたします。

問合せ先

教育委員会教育課学校教育係 ☎ (579) 5801

令和元年度
全国学力・学習状況調査

【豊頃町教育委員会・豊頃町教育研究所】
豊頃町の児童生徒の
学力や生活習慣は？

本年4月に小学校6年生と中学校3年生を対象に、国語・算数（数学）と英語（中学校のみ）で全国学力・学習状況調査が実施され、分析結果が7月下旬に示されました。この結果を基に、教育委員会・教育研究所では、町内各校の学力のより確実な定着に向けた取組を尊重しつつ、豊頃町全体の教育環境づくりの観点から、子どもの学びを育む学校、家庭、地域の更なる連携に期待をし、下記の通り分析結果をまとめました。

● 豊頃の子どもたちの学力等の傾向

| 小学校 | 中学校 |
|--|--|
| <p>国語、算数ともに全体正答率が全道・全国平均を上回る結果となりました。国語では「書くこと」の領域で、やや全道・全国平均を下回りましたが、その他の領域は全道・全国平均を上回り、着実に習得ができています。算数は、全ての領域で全道・全国平均を上回り、着実な習得ができています。</p> | <p>国語では「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な文化と国語の特質に関する事項」の4領域すべてで、全道・全国平均を上回りました。数学では「数と式」「資料の活用」の2領域は全道平均をやや上回り、全国平均は同じでした。「図形」「関数」の2領域では全道・全国平均を上回りました。英語では「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3領域において全国・全道平均を上回りました。（「話すこと」は参考値）全道・全国平均を下回った教科はありませんでした。</p> |
| <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇4領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言葉文化と国語の特質に関する事項」については、おおむね定着が図られていますが、「書く能力」において課題が見られました。 ◇「話すこと・聞くこと」の領域で、目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして読む力が育っています。 <p>算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇4領域「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」については、おおむね定着が図られているが、「数量や図形について知識・理解」において課題が見られました。 ◇「図形」の領域で、図形の性質や構成要素に着目して、図形を観察・構成したり、図形について筋道を立てて考察し表現したりする力が育っています。 | <p>国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇すべての領域・観点において全道・全国平均を上回っており、バランスのとれた高い国語の力が身につけています。 <p>数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」のすべての領域で全道・全国平均を上回っており、確実に数学の力が身につけてきています。 <p>英語</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「聞くこと」「話すこと（参考値）」「読むこと」「書くこと」のすべての領域で全道・全国平均を上回っています。 ◇日常的に自分の考えや気持ちを「話す」「書く」活動を取り入れているため、表現力が身につけています。 |

教科ごとの傾向

● 学習習慣や生活習慣の傾向

～児童生徒質問紙調査から～

＜小学校＞

- ◇生活面では、基本的な生活リズム（「早寝・早起き・朝ご飯」）に、改善が見られてきています。
- ◇宿題には、しっかり取り組んでいます。自分で計画を立てて勉強したり、読書したりする時間が短い傾向にあります。計画的に学習や読書をする習慣を身につけることが必要です。
- ◇住んでいる地域の行事やボランティア活動に参加している児童が多く見られます。また、地域の大人との関わり（一緒に遊ぶ、勉強やスポーツを教えてもらうなど）も多くあります。

＜具体的な方策＞

- ◇学校では、「分かる・楽しい授業づくり」に努め、子どもの学ぶ意欲を高め、学ぶ楽しさを実感させていきます。また家庭とも連携して、学習の方法や学習習慣を身につけさせるよう取り組みます。
- ◇家庭では、家庭生活の中に「家庭学習と読書」を位置づけ、テレビやゲームをする時間と学習や読書に取り組む時間とのバランスを見直し、基本的な生活習慣が定着するようご指導願います。

▽豊頃町の児童生徒の学力や生活習慣は？

広報とよこ

役場だより

▽豊頃町の児童生徒の学力や生活習慣は？

広報とよこ

役場だより